

平成24年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	いくっ子(生っ子・育っ子) スポーツビレッジ
事業主体 (連絡先)	生坂村教育委員会 0263-69-2087
事業区分	教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,885,279円 (うち支援金: 1,611,000円)

事業内容

小学校が終了した放課後や休日など、子ども達が集いやすい日時を活用し、B&G体育館や児童館などの体育施設や田んぼ等においてニュースポーツの体験や田んぼを使って泥だらけになって遊ぶ野外活動などを地域住民やスポーツ指導者、大学と学社融合して参加、指導に当たり、子ども達が興味を持つような企画や内容で実施する。



【大学生とニュースポーツ】

※1 自己評価(事業実施率)【 A 】

事業効果

運動や野外活動を通じて、子ども達の体力の向上が図られるとともに、集中力も養われることで、学力向上の一助となり、将来に渡る運動の継続性や健康な体作りと健全な精神の育成のきっかけをつくる事ができた。

地域住民や大学生などが指導者となって応援したことで、地域や世代間のコミュニティが図られ、それらに対する愛着と協働の精神の育成を図ることができた。

ニュースポーツや野外活動により、希薄となりつつある仲間同士や地域との関わり、世代を超えた交流を容易に図ることができた。

【目標・ねらい】

- 教育と文化の振興
- 子ども達の運動習慣
- 地域及び世代間の交流
-

※2 自己評価(事業効果)【 A 】

今後の取り組み

引き続き、村が抱える少子高齢化や現代社会におけるインドア傾向の遊びによって、団体での遊びや運動を行う子どもが少なくなっていく状況から、屋外・屋内を通して学校以外で体を動かす機会を多く提供し、子どもの体力低下や合わせて関連性があるとされている学力低下を防いでいきます。

また、今回の活動を通じて地域住民や公民館、松本大学などとスポーツや野外活動を協働で展開したことで、これからの将来を担う生坂の子ども達の地域及び世代間コミュニティの育成と交流が図られたので、今後も購入したニュースポーツの道具の活用や野外活動を展開していきます。

※1 自己評価(事業実施率)欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。
 ※2 自己評価(事業効果)欄は、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある